



学校だより

令和8年5月号

学校HP

学校教育目標『笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子』横浜市立茅ヶ崎東小学校



きらきら！ねんせい ようこそしゅうかい

校長 高橋 哲雄

本校では、昨年度まで校内の重点研究として「特別活動」に取り組んできました。子どもたち一人一人が主体的に関わり、思いをもって活動する中で、仲間とともに楽しさや達成感を味わうことを大切にしてきました。こうした取組を積み重ねてきた成果として、学級や学年、さらには全校での集会活動において、子どもたち自身が話し合い、準備し、進行する姿が多く見られるようになりました。自分たちで創り上げる活動だからこそ、どの場面にも子どもたちの思いや工夫が感じられます。昨年度の「6年生ありがとうがんばってね集会」では、これまで学校を支えてきた6年生への感謝と応援の気持ちが伝わってくる、心温まる集会となりました。

そして先日、「きらきら！ねんせい ようこそしゅうかい」が行われました。この集会に向けて、子どもたちは昨年度のうちから代表委員会などで話し合いを重ね、「どんなプレゼントなら喜んでもらえるかな」「1年生を楽しみに待っていた気持ちが伝わるかな」と、相手のことを思いながら準備を進めてきました。運営は、昨年度のプロジェクト委員が引き続き担当し、当日の進行も1年生の様子に目を配りながら、優しく、丁寧に進めていました。クイズやプレゼントなど、工夫をこらした内容で、会場は笑顔に包まれ、1年生を迎えて全校で楽しいひとときを過ごすことができました。これからもさまざまな教育活動を通して、子どもたちが人と関わりながら学び、成長していけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。



SSW（スクールソーシャルワーカー）

スクールソーシャルワーカーとは、教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する職員で、問題を抱えた児童に対し、当該児童が置かれた環境への働きかけや、関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていきます。今年度は、月に1回、内海圭樹（うちうみけいじゅ）スクールソーシャルワーカーが巡回訪問で来校します。相談をご希望される方は、学校までお知らせください。



幼保小連携推進地区事業（3年目）

茅ヶ崎東小学校では、幼保小連携推進地区事業に取り組んでいます。これは、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続と双方の教育の充実を目指し、園と学校とが協働で連携教育に取り組むものです。これまで、園児に関わりながら成長する姿や、小学校生活への不安が解消される園児の姿を見ることができました。今年度はまとめの年として引き続き連携を積み重ねながら取組を進めてまいります。